

愛媛県がん診療連携協議会 緩和ケア専門部会議事録

1. 日時 2022 年 12 月 1 日（金） 18：00～18：55
2. 場所 四国がんセンター Web 開催
3. 司会 成本部会長（四国がんセンター） 書記 加藤（住友別子病院）
参加： 26 名(14 施設)
欠席：愛媛労災病院 西条愛寿会病院 市立八幡浜総合病院
4. タイムスケジュール
18:00～18:03 成本部会長挨拶（3 分）
18:03～18:12 各施設のコロナ禍における状況報告（各施設代表者）
18:12～18:55 令和4年度 第2回 がん診療連携協議会 緩和ケア専門部会事前アンケート結果をもとに、今後の緩和ケア専門部会について意見交換
- 5.内容
 - 1) 各施設のコロナ禍の状況報告
 - ・面会は、登録した2名までと制限をかけている。状態が悪化した場合にはその他に数名面会可としている。面会制限があり、介護力がある方は自宅療養を希望する方もいる。
 - ・11月から緩和ケア病棟再開となったが、コロナ患者の受け入れもあるため緩和の患者は5床以上となれば、一般病棟へ入院として対応している。
 - ・コロナ患者の受け入れがない施設の現状は大きく変わらない。
 - ・コロナ患者受け入れ施設は、緩和ケアラウンドを控えていたが現在は再開できている施設やコロナ禍でも変わらず実施できている施設があった。
 - ・コロナの感染状況に応じて、緩和ケア病棟の受け入れを調整している。
 - ・サロンについては、WEBで再開しているところと、今後WEBで継続するか対面開催とするのか検討している施設があった。
 - ・コロナ禍で、末期癌の患者(看取り)が、以前よりも在宅を希望する事例が増えている。
 - ・コロナ禍で面会制限があるため、在宅療養や在宅看取りをすすめるようにしている。
 - ・緩和ケア病棟を10月～開設した施設がある。
 - ・感染し医師、看護師が休むこともあるが、市民公開講座はWEB開催とし行った。手術は一時制限していた。
 - 2) 令和4年度 第2回 がん診療連携協議会 緩和ケア専門部会事前アンケート結果報告をもとに今後の緩和ケア専門部会について意見交換
(事前アンケート集計結果資料参照)
 - ・感染状況によって、主体はWEB開催とするのか現地開催とするのか、現地開催も念頭に入れて考える。
 - ・緩和ケア専門部会でテーマをあげて、大きく発信していくべきではないか。中橋先生を中心に取り組んでいる在宅緩和ケア事業モデルをオール愛媛でやるようになったらよい。

在宅看取りが増え、各種連携し学会発表や論文など大きなものがつくれば良いのではないかと意見あり。中橋医師より、県には報告しているが、時間的なこともあり対外的にはしていないと回答あり。

- ・題材を決めて時間の幅を持たせ、1時間15分～1時間30分で意見交換をしてはどうか。
- ・非がん患者に対してどうしているか、具体的にしているのか。積極的にはしていないが心不全の患者などが現れた時に、段階的にモルヒネや鎮静を使用している。
- ・中橋医師より、2014年より緩和ケア専門部会に独立して、今まで中予のコアメンバー（四国がんセンター、松山ベテル病院、愛媛県立中央病院、松山市民病院）である程度話し合い、検討し企画していたが。WEB開催となるのであれば、東予、南予も入って、当番を決めて各施設が主体性をもって企画してもらうのもよいのではないかと。
任期を2年とか決めて、メンバーが固定化しないように運用してはどうか。
ベテル病院は、次年度よりコアメンバーではなく一般病院での参加を考えている。
- ・コロナの前は、症例とレクチャーを輪番で行っていた。医師だけでなくメディカルスタッフも集まりよかったのではないかと。
- ・拠点病院、推進病院、緩和ケア病棟など各施設により立ち位置が異なることも考えて、東予・中予・南予混ぜて輪番制にしてはどうか。
- ・成本部会長より、今後の緩和ケア専門部会については、メールで案内して修正・追加し運営に役立てていきたい。

次回：2022年7月予定

書記担当：西条愛寿会病院